

# うどのにしいせき 鵜殿西遺跡（第7次調査）

## 調査期間

令和4年8月下旬  
～令和4年10月下旬（予定）

## 調査面積

574 m<sup>2</sup>

## 所在地

三重県南牟婁郡紀宝町鵜殿 地内



調査区位置図（国土地理院 1/25,000 地形図『新宮』より）

## 発掘調査がはじまります！！

鵜殿西遺跡の発掘調査は、一般国道42号新宮紀宝道路建設工事に伴い、平成30年度から継続的に行っています。過去の調査では、鎌倉時代から室町時代の区画溝や建物、井戸など屋敷地に伴う施設の痕跡を確認しました。これらの遺構は、鎌倉時代の文献に記載される「新宮津」や、室町時代の有力者だった「鵜殿氏」との関係性が考えられます。

今回の調査では、これまでに確認したいくつかの区画溝がどのように接続していたかなどが明らかとなる見込みで、屋敷地の構造の解明に一步近付けそうです。調査成果については、わかり次第ホームページなどでお知らせします！



令和元年度の調査で確認した溝（北から）



令和2年度の調査で確認した溝（南から）

### 【 問い合わせ先 】

三重県埋蔵文化財センター 調査研究2課（担当：渡辺・鐸木）  
〒515-0325 三重県多気郡明和町竹川 503  
電話：0596-52-7029 FAX：0596-52-7035